

平成 28 年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	明治大学	タイプ	B
事 業 名	CLMVの持続可能な都市社会を支える共創的教育システムの創造		

〔評価コメント〕

本事業計画は、CLMV 諸国とタイ、シンガポールの 15 大学の学生交流を通じて、アジア諸国全体が近い将来、都市社会を発展させていく上で抱える公害、下水道処理、経済格差等の多くの問題について協働学習する機会を持ち、将来、互いに協力し合い地域全体の持続可能な高度都市開発を実現していくための人材育成を目指している。明治大学は、既にスーパーグローバル大学創成支援事業を始め、多くの外部資金を獲得し、大規模な学生交流事業をこれまでも展開してきた。その実績を活かし、本事業ではバンコクにある明治大学アセアンセンターの施設並びに教育環境を存分に活用して、CLMV 諸国の教員と合同で「共創FD」を開催し、アジア型の将来都市構想に向けた教育力の向上・意識共有を図っている。日本からは 100 名以上の学生を派遣し、CLMV 諸国並びにその他東南アジア諸国をリードする大学の学生と共に学生会議を開催し、課題別パネルにおける議論・検討から、国際的・学際的な視点を持ち、より現実に即した「アジア型の将来都市構想」の政策案を協働で立案する機会を設けている。そして、留学先では、企業や国際機関の協力を得て、PBL 型体験学習やそれぞれの分野の専門教育を受けることで、交流に参加する学生全体を、持続可能な将来の高度都市開発に貢献できる人材に育成しようとしている。

本事業は大規模な学生交流事業であり、国際的、学際的協働学習の場を提供している意欲的なものである。教員のFDも含め、CLMV 諸国の高等教育全体の質の向上にも貢献する計画であり、これまで蓄積してきた経験をうまく活かした実現性の高い試みであるという点は、高く評価できる。また、段階的に養成することで、全ての段階で十分な学習成果を修めた学生が将来、アジア地域の都市開発事業において活躍することが大きく期待できる。

一方で、3 部局が実施する様々な学生交流プログラムの実施により、交流規模が大きい分、全体の組織、運営、学習内容がきちんと接続され、一つの事業としてまとめ、個々の学生が段階ごとに確実に学んでいくことをどう保証するかが懸念される。また、CLMV 諸国以外の大学と交流する学生にも学生会議等を通じて、CLMV 諸国の学生との協働学習の機会をどう確実に提供するかが検討することが望まれる。

最後に、今回「大学の世界展開力強化事業」に採択された貴学におかれては、将来の我が国と ASEAN 諸国との関係を見据え、質保証を伴った国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。